

技術移転ニュース

No. 10 平成16年8月5日発行

材料開発に役立つ放射線加工技術講習会 in Takasaki 2004 開催

平成16年7月28,29日、高崎研究所において「材料開発に役立つ放射線加工技術講習会 in Takasaki 2004」が開催された。本講習会は、昨年度実施した第1回講習会が好評を博したことを受け、放射線利用についてより多くの企業の人達に理解を深めてもらい、今後の技術開発に役立ててもらうために企画されたものである。今回は、県内外の企業等から17名の参加があった。初日は、放射線グラフト重合による実験が行われ、ハンカチへのアンモニア脱臭機能の付与による消臭効果、高分子材料の親水化によるぬれ性の変化について参加者に確認してもらった。二日目は、電子線照射による橋かけの実験が行われ、ポリエチレン(PE)の耐熱性及び引っ張り強度の向上、生分解性高分子溶液からのハイドロゲルの合成を体験してもらった。終了後のアンケート調査の結果では、参加者全員から今回の講習会が役に立ったとの回答が寄せられた。



・グラフト重合技術の講習
高分子の親水化を行った材料の接触角(ぬれ性)の測定風景

・橋かけ技術の講習
橋かけPEチューブの耐熱性試験
(左から未照射,100kGy,200kGy,
300kGy照射品:120℃で加熱)



7/16 ミニTAMA 三多摩会で 放射線利用技術を紹介

ミニTAMA三多摩会は、東京都三多摩地域の意欲のある企業が理工系大学等研究機関の多い「地の利」を活かし、産学連携や企業間連携による新製品や新技術の開発などを積極的に推進するため組織され、毎月産学連携事例発表等と交流会が開催されているものです。

今回、「放射線を利用したものづくりと技術移転について」と題して、約120名の参加者に身近な放射線利用技術、新しい技術、原研の技術移転制度について、紹介した。また、交流会では「放射線が思いもよらない製品に利用されていることを初めて知った」、「新しい製品開発手段として興味深い」などの意見が聞かれた。

産学官業種別研修会で講演

7月26日、富岡市のホテルアミューズ富岡において産学官業種別研修会(プラスチック業対象:これからのプラスチック業に求められるモノ!)が開催され、高崎研から「放射線による生活に密着した製品開発」と題して、50名の参加者に身近なところで放射線を利用した製品が使われていることを説明した。

日本原子力研究所 高崎研究所
技術移転推進チーム 窓口 笠井昇
〒370-1292 高崎市綿貫町1233
TEL:027-346-9812 FAX:027-346-9381
<http://www.taka.jaeri.go.jp>